

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・現代の国語	1	2	新編 現代の国語 (大修館書店)	新編 現代の国語学習ノート
目標		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査や小テストの結果と課題の内容から「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 授業や課題の取り組み状況から「主体的に学習に取り組む態度」評価する。 			
学期	学習内容（単元）	到達目標		
1	1 ことばをひらく 2 日本語を使いこなす 3 わかりやすく説明する 4 聞く力を育む	<ul style="list-style-type: none"> 主張と根拠などの関係について理解している。 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や校正、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 書き言葉や話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 伝わりやすい話し方について意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。 「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。 「書くこと」において、情報を整理したり編集したりし、わかりやすく効果的な文章になるよう、文章の種類、構成や展開、文体、語句などの表現のしかたを工夫している 		

	5 論理を読み取る 6 伝え合いのレッスン	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・対比、例示、言い換えなどについて理解している。 ・話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話している。 ・対話の力やコミュニケーション力を高めることに关心をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。
2	7 説得力を高める 8 情報と向き合う	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解している。 ・横書きの文章の書き方、引用のルール、参考文献の示し方などを理解している。
3	9 他者を動かす 10 社会に目を向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫して発表している。 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して適切な通信手段を選び、相手の気持ちを動かす依頼状になるよう内容や形式を検討している。 ・書き言葉の特徴をふまえて適切な敬語や頭語と結語などを用い、基本的な手紙の形式を理解して依頼状を書いている。 ・例示や言い換えなどの述べ方について理解している。 ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成に着目しながら、筆者の主張をとらえている。 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。